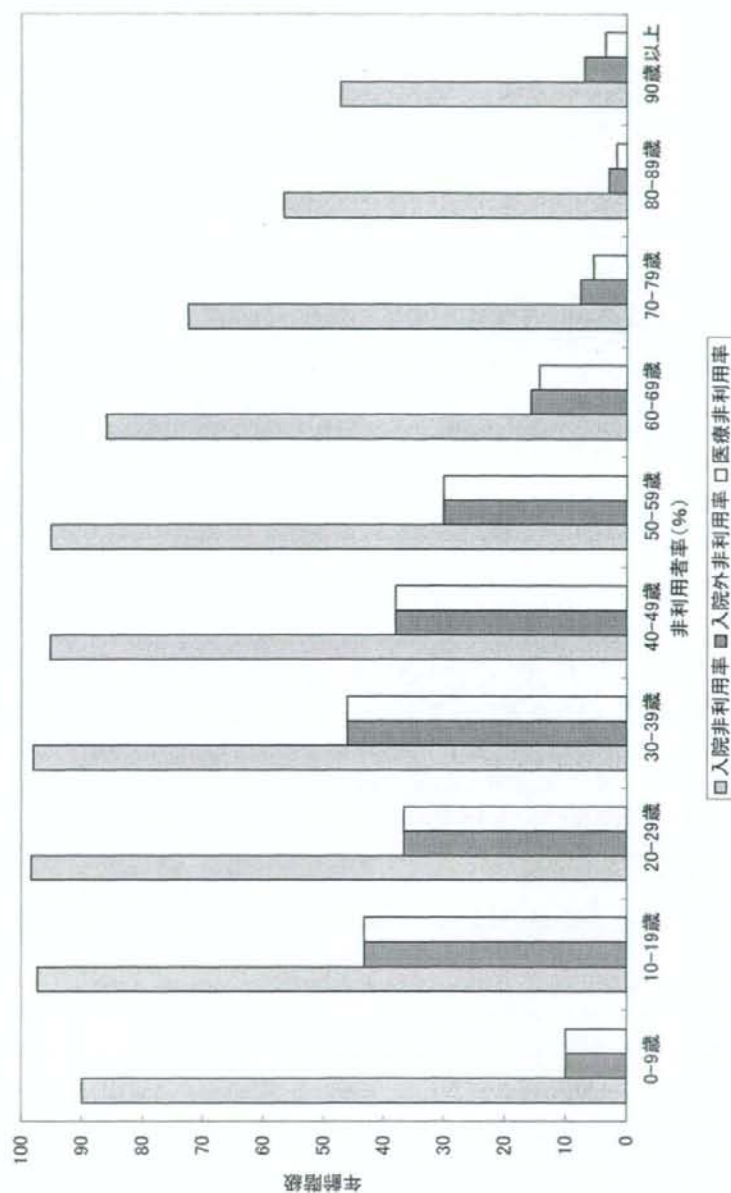


医療機関の利用の有無について-2

図表 21：医療機関の利用の有無について



○年齢階級別に見ると、高齢者ほど非利用率が低下することがわかる。
 ○なお、高齢層において、入院のみ利用するケースがあり、医療非利用率が入院外非利用率を下回る場合がある。

医療サービス利用の集中度について

○医療サービスは全く使用しない人もいるため、加入者で平均して医療費額を計算して、その動向を見るだけではわからない情報もある。

○年間の受診日数や医療費額の低い（安い）順に加入者を並べて、誰がどの程度の日数や医療費を使用したかを観察することはサービス資源や医療費の使い道のイメージを捉えるために必要なことである。

○横軸を加入者数の累積値とし、縦軸を累積診療実日数・累積医療費としたグラフを描く。

○例えば、年間診療実日数分布（入院、2007年）のグラフを見ると、900人目までは累積診療実日数がゼロである。これは900人がだれも入院していないことを意味する。その後、徐々に利用日数の累積値が増大し、最後は急速に増加していく。これは入院日数の長い加入者が、全体の中でも大きなシェアを保っていることを意味する。

○他方、年間診療実日数分布（入院外、2007年）のグラフを見ると、累積診療実日数がゼロであるのは250人程度までであり、それ以降徐々に累積診療実日数が増大する。このため、外来医療資源は入院よりはより幅広い人によって、利用されていることがわかる。

○年間合計点数分布（入院、2007年）から最も医療費の高いグループの個人は年間110万点程度（1100万円程度）、一人で使用していることとなる。

※金額の高さに目が奪われがちであるが、これは公的医療保険がキチンと機能してこのような高額の治療であってもある程度安心して利用することができることも意味している。

○入院医療費使用額の上位50人について詳細に調べてみると、1位の年間110万点程度から21万点程度（210万円程度）と非常に大きな開きがあった。

○入院医療費使用額の上位50人について、観察された傷病名は各種悪性新生物4名、統合失調症4名、糖尿病2名、などであった。

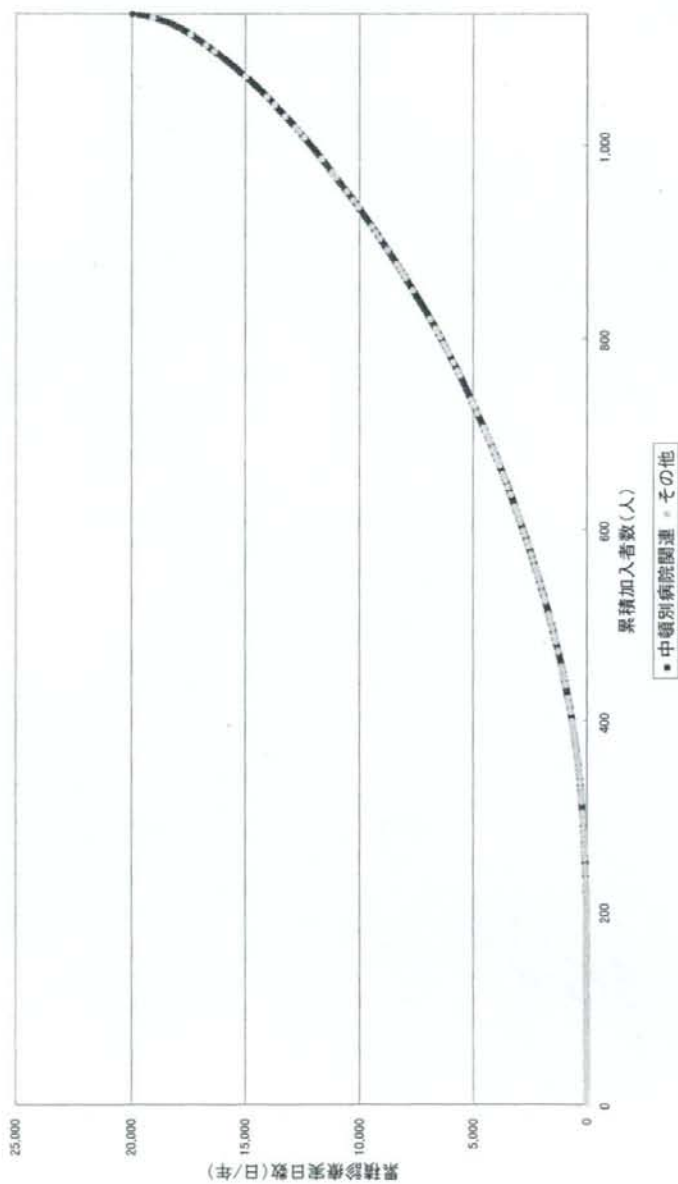
図表 22：年間診療実日数分布（入院、2007年）

年間診療実日数分布（入院、2007年）



図表 23：年間診療実日数分布（入院外、2007年）

年間診療実日数分布（入院外、2007年）



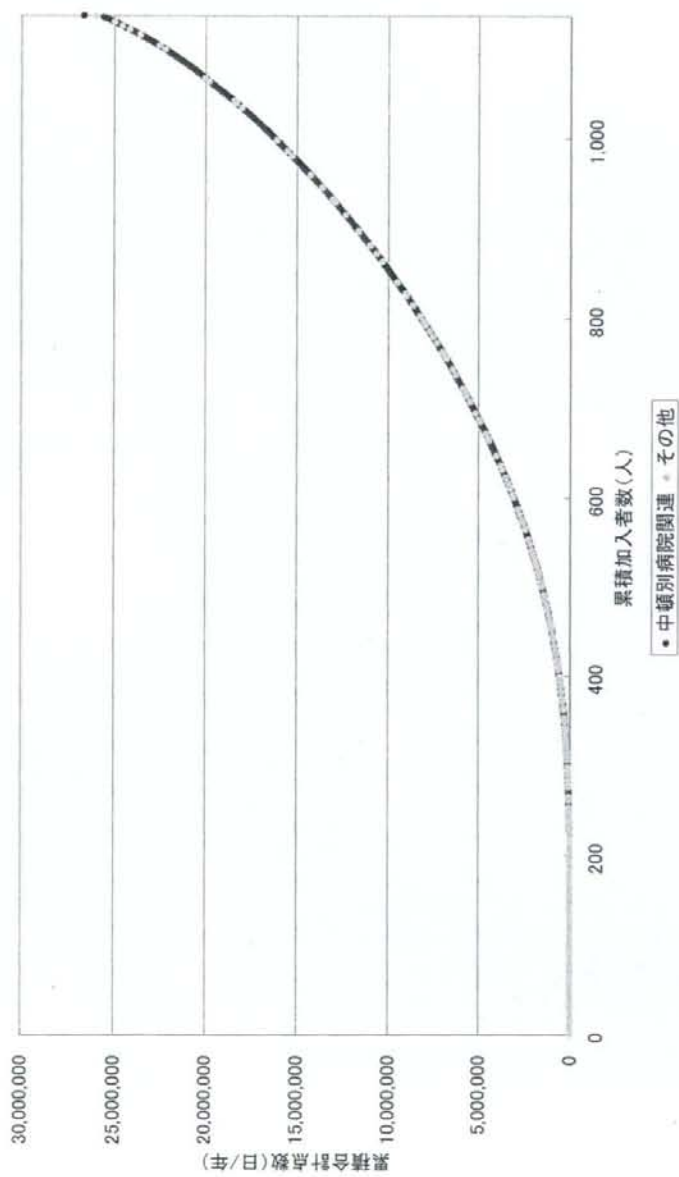
図表 24：年間合計点数分布（入院、2007年）

年間合計点数分布（入院、2007年）

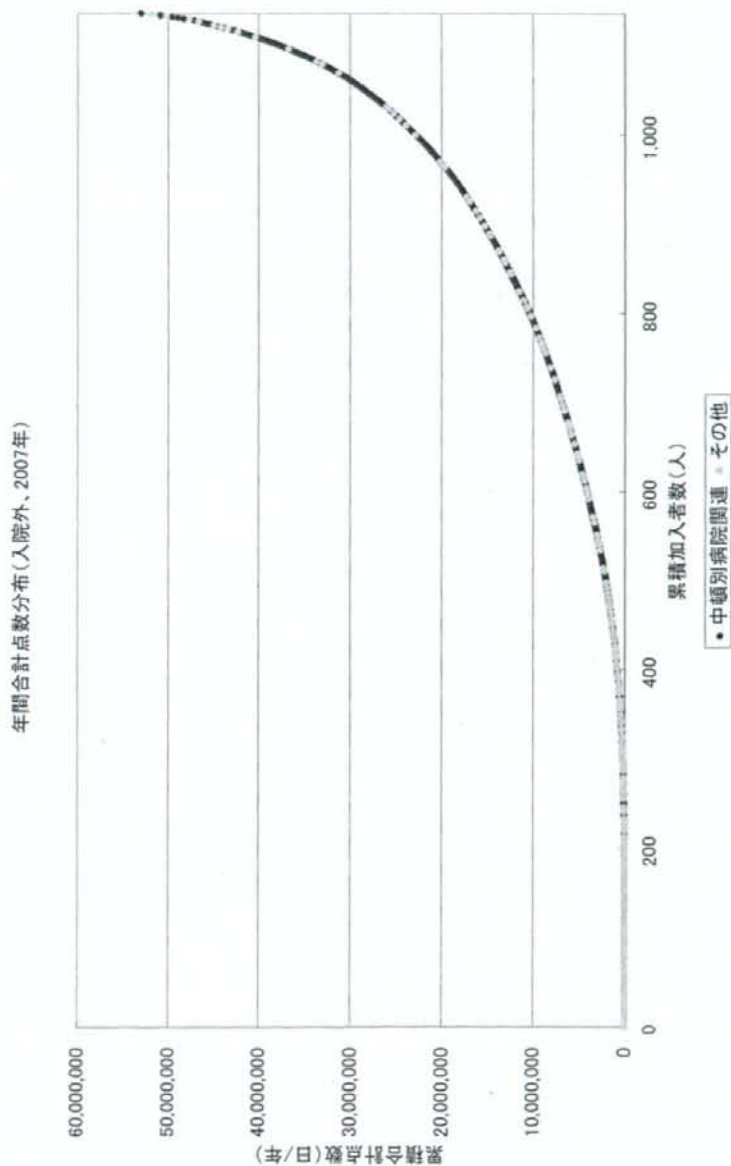


図表 25：年間合計点数分布（入院外、2007年）

年間合計点数分布（入院外、2007年）



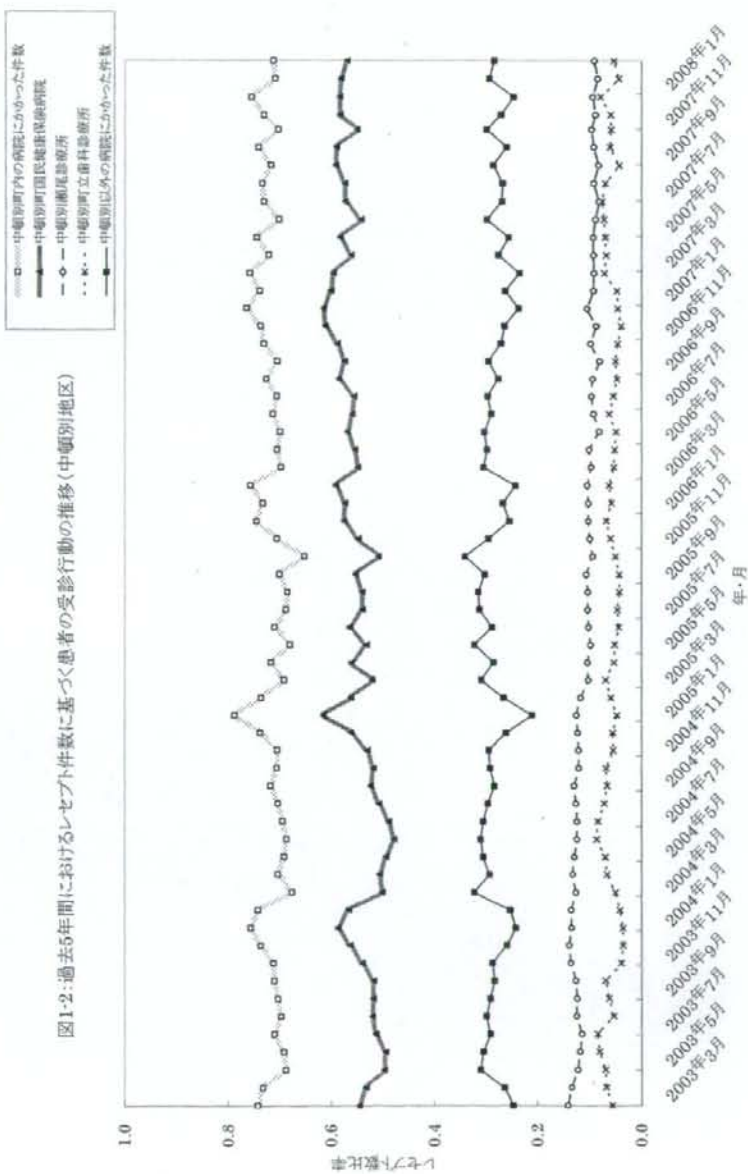
図表 26：年間合計点数分布（入院・入院外計、2007年）



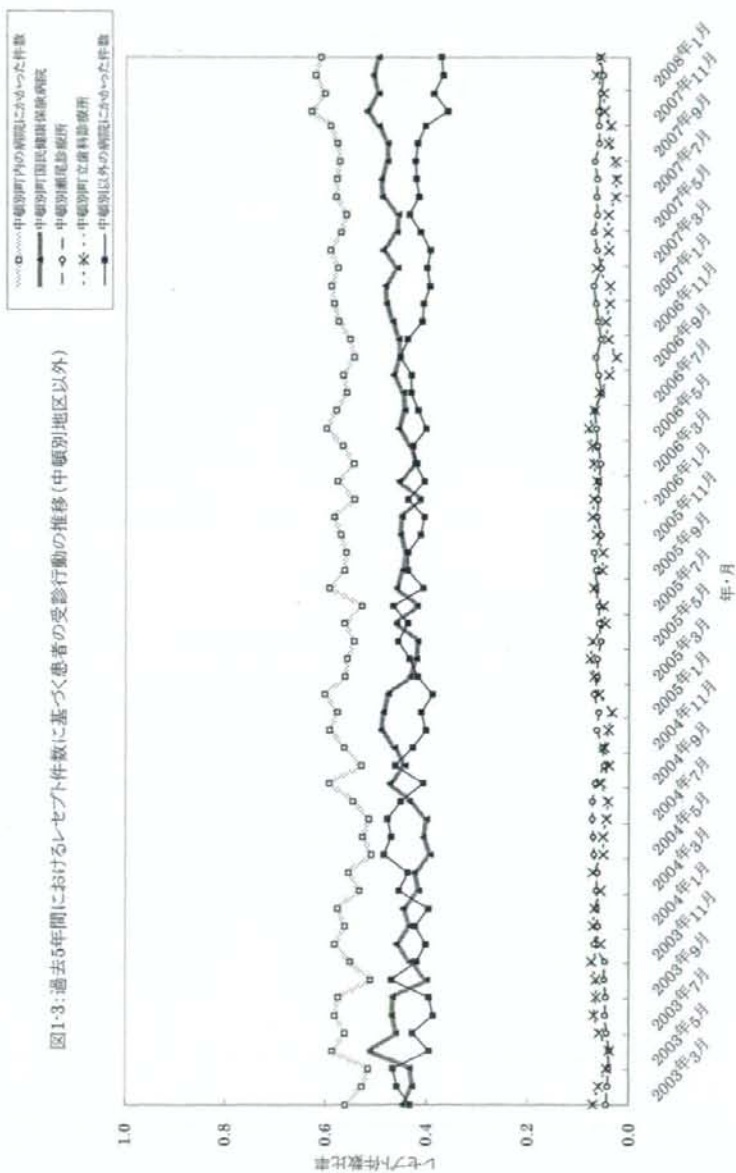
中頓別町国民健康保険加入者の医療機関選択行動

- 中頓別町国民健康保険加入者のうち、外来受診した者のうち、中頓別病院を選択した患者は50%程度（図表27）。
- これを中頓別地区とそれ以外の地区にわけると、中頓別地区は60%、それ以外の地区は40%程度と差が大きくなることがわかる（図表28、29）。
- 時系列の傾向を見ると、中頓別地区・それ以外の地区双方で、中頓別病院を選択する傾向は徐々に高まっていることがわかる。（図表27～29）
- 中頓別地区別の以外の地区別の図は関連図表に掲載している。
- 入院のみを行っている患者について見ると、中頓別町の医療機関を経由する形態が増え、町外医療機関のみ入院するケースは減少している（図表30）。
- 入院外のみを行っている患者について見ると、中頓別町の医療機関を経由している形態は観察期間中常に9割程度を維持し、町外医療機関のみを受診するケースは1割程度となっている（図表31）。
- 総受診日数のうち中頓別町の医療機関が占める割合を貢献率とする。入院のみのケースでの貢献率で見ると、2005年にそれまでの40%未満から50%程度まで急激に上昇した後に、緩やかに低下傾向を示している（図表34）。
- 入院外のみケースにおける貢献率で見ると、中頓別を通過するケースは観察期間中常にほぼ100%に近いことがわかる（図表35）。
- 貢献率を総診療報酬点数に占める中頓別町の医療機関が占める割合で定義しなおす。入院のみのケースでの貢献率で見ると、入院については貢献率を診療日数で定義した場合と同じ傾向が見られる（図表38）。
- 他方、外来患者については状況が異なる。2007年には中頓別町を経由したケースの貢献率は急激に低下する。これは後に見るように、中頓別病院において医薬分業が同年中に実施されたことによる（図表39）。

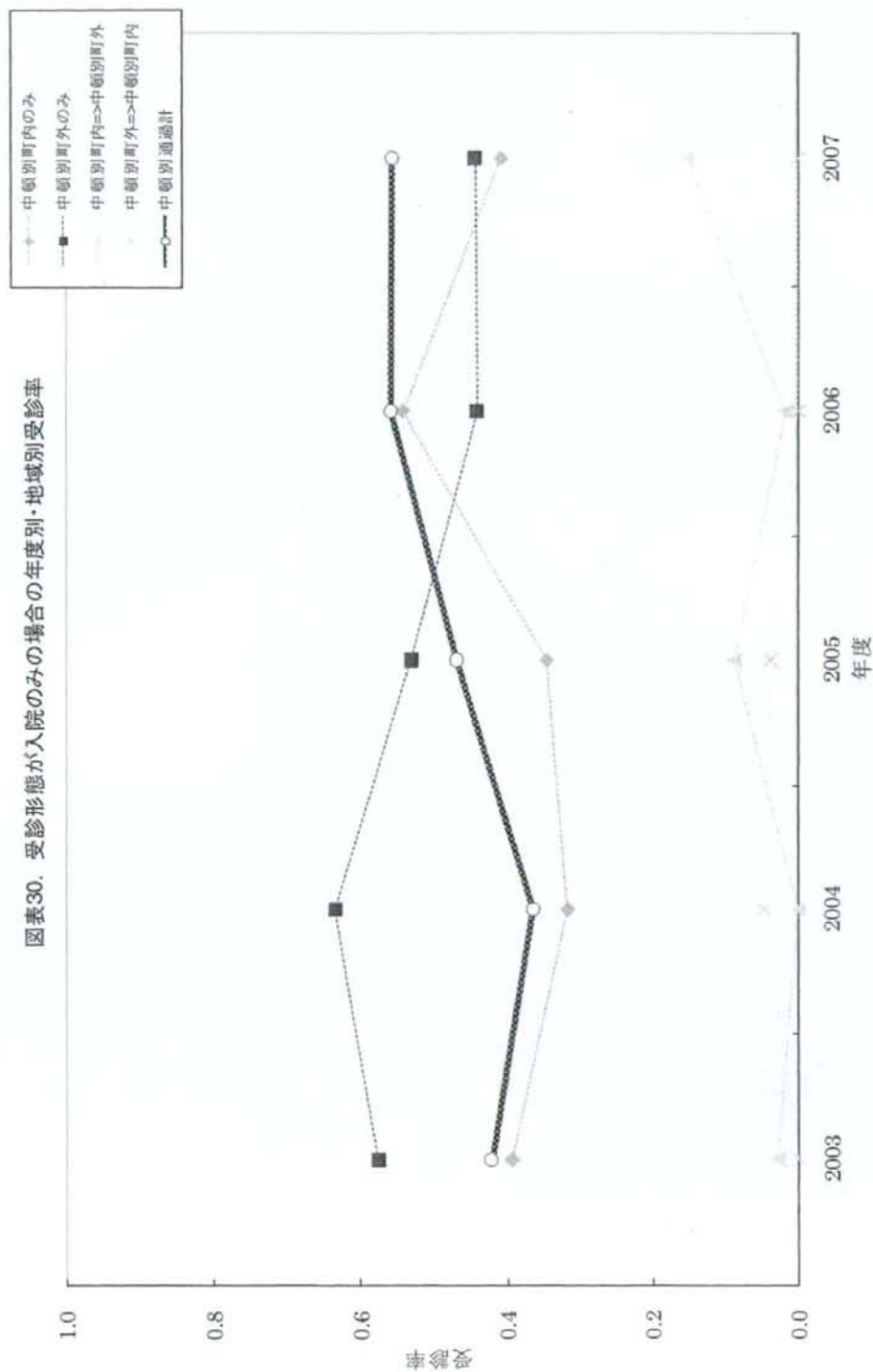
図表 28：外来受診者のうち中頓別病院選択比率（中頓別地区）



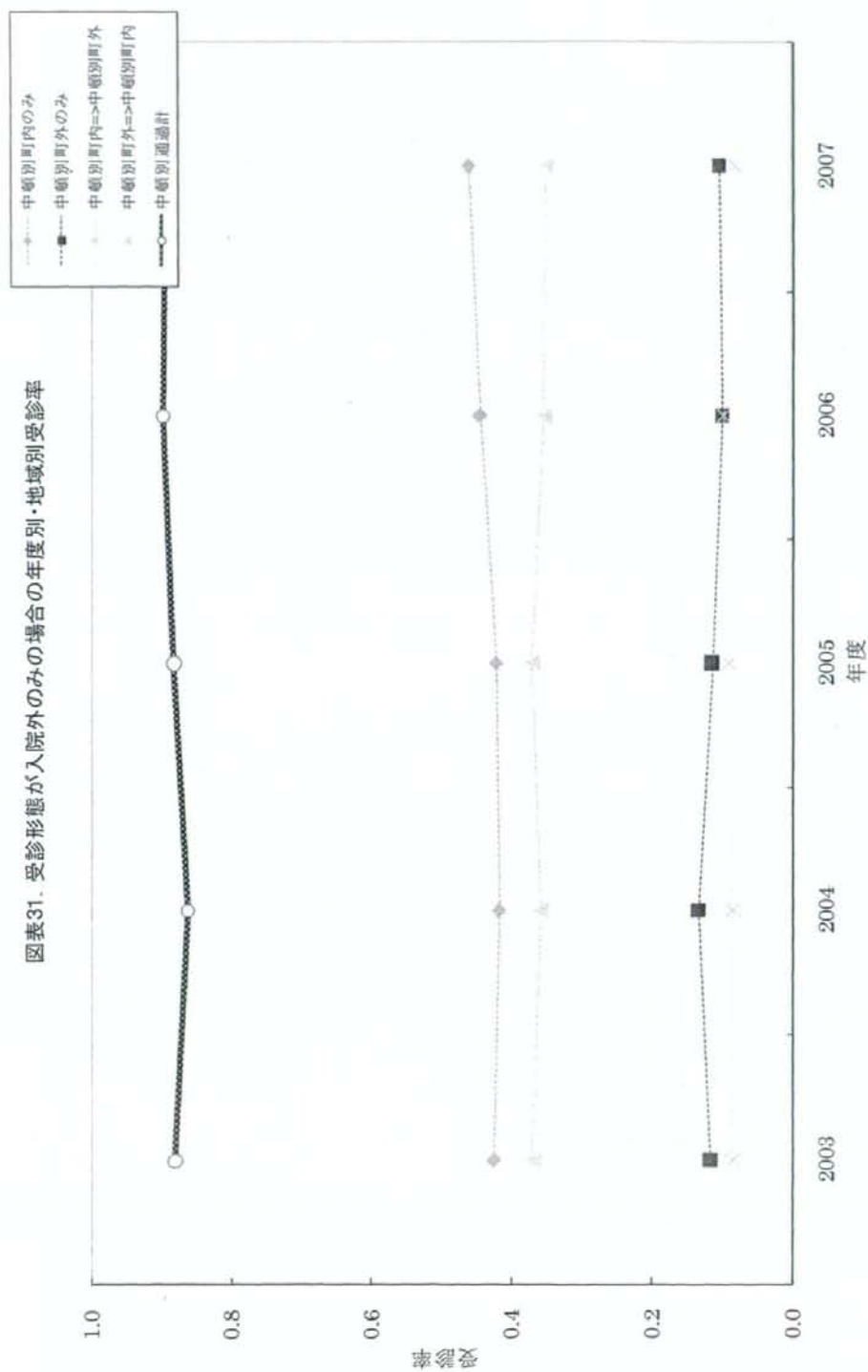
図表 29：外来受診者のうち中頓別病院選択比率（中頓別以外の地区）



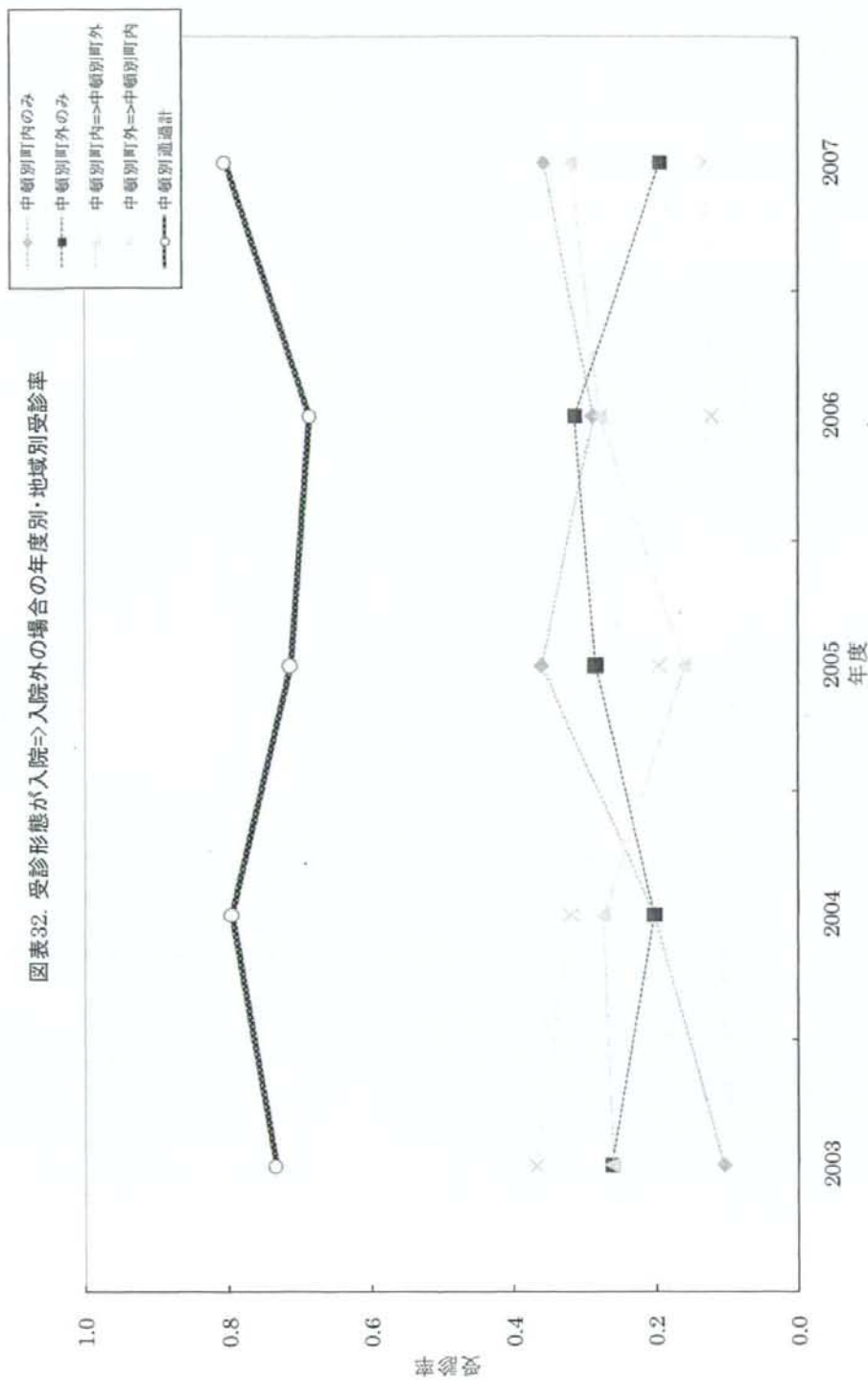
図表30. 受診形態が入院のみの場合の年度別・地域別受診率



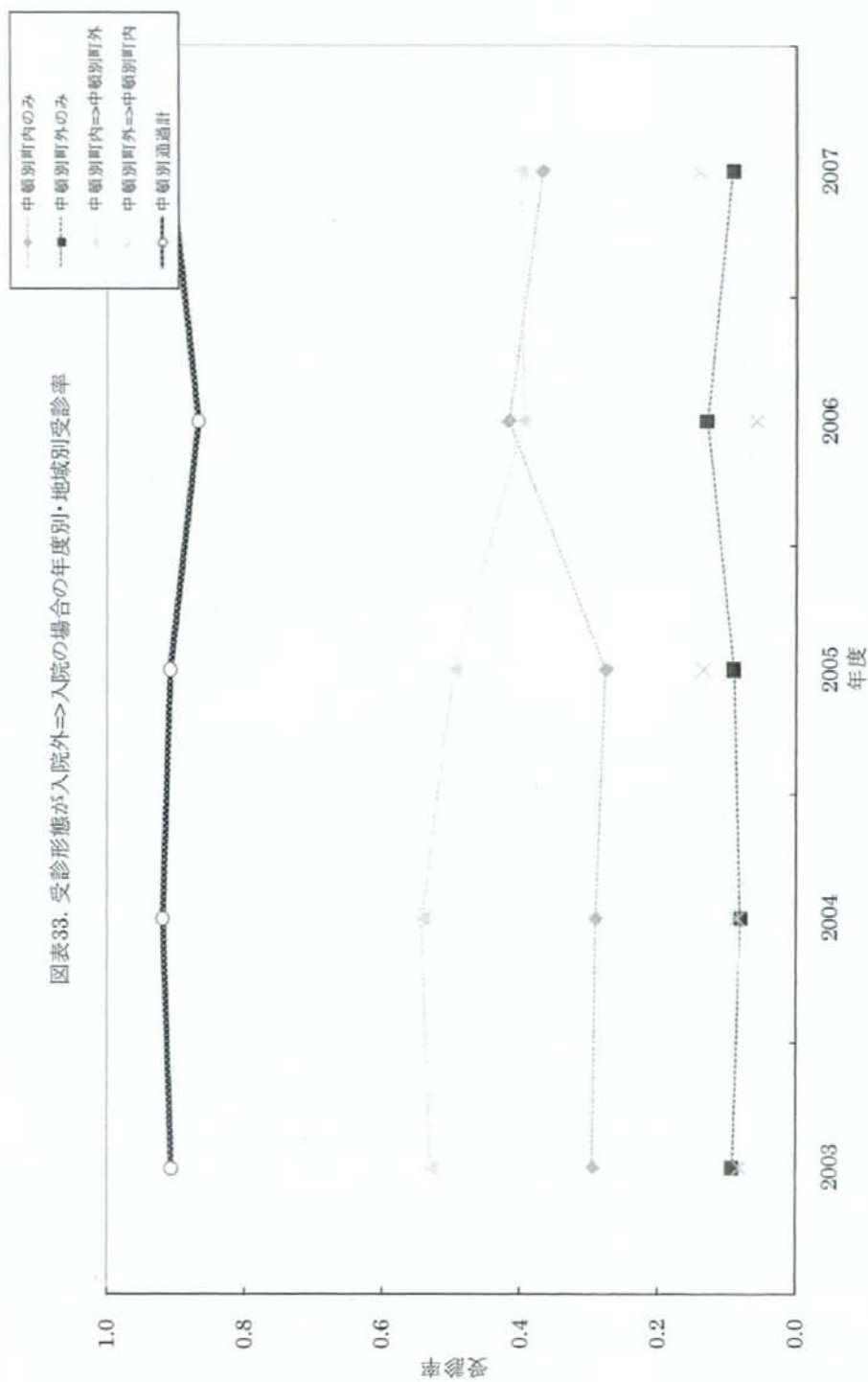
図表31. 受診形態が入院外のみの場合の年度別・地域別受診率



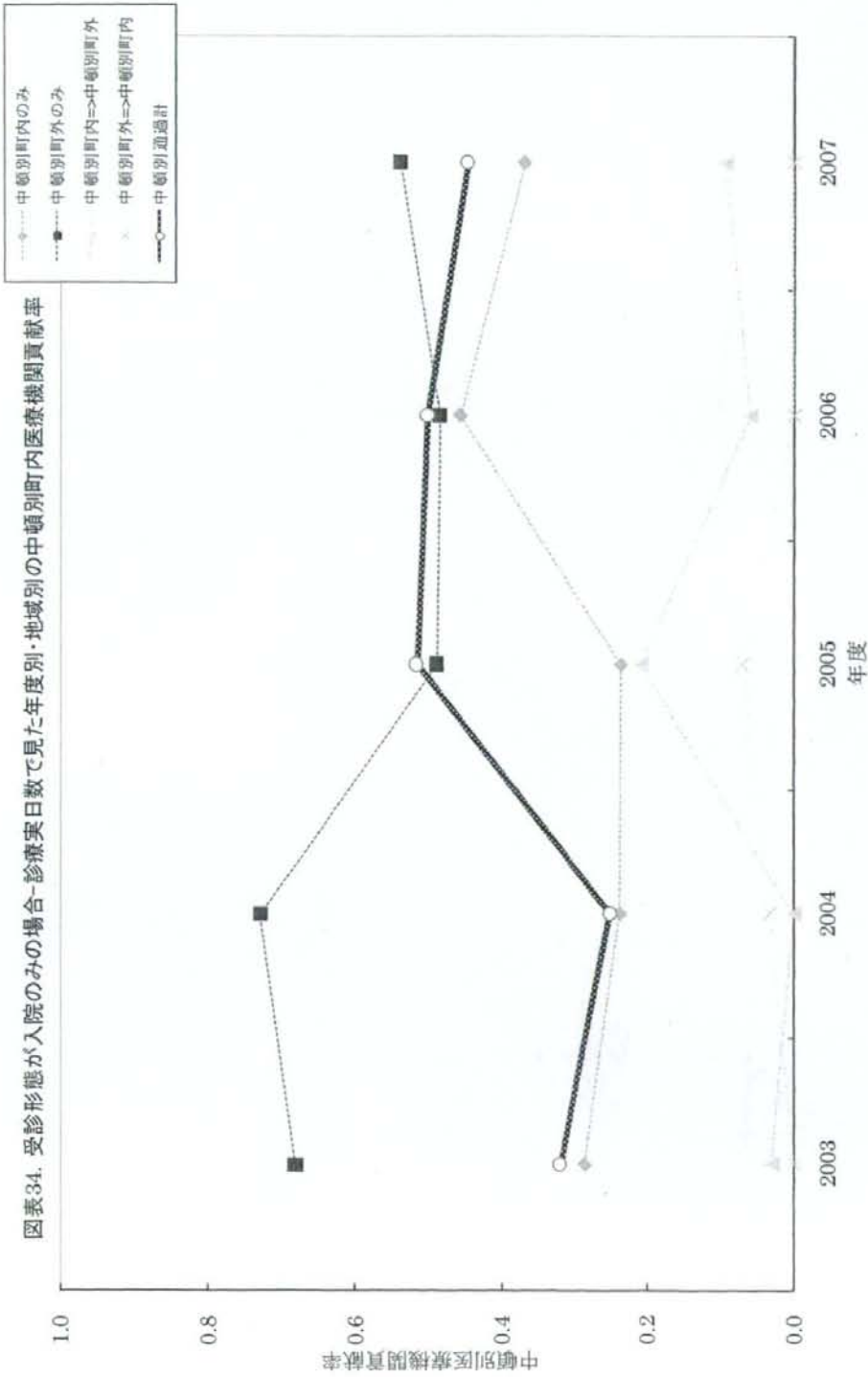
図表32. 受診形態が入院⇒入院外の場合の年度別・地域別受診率



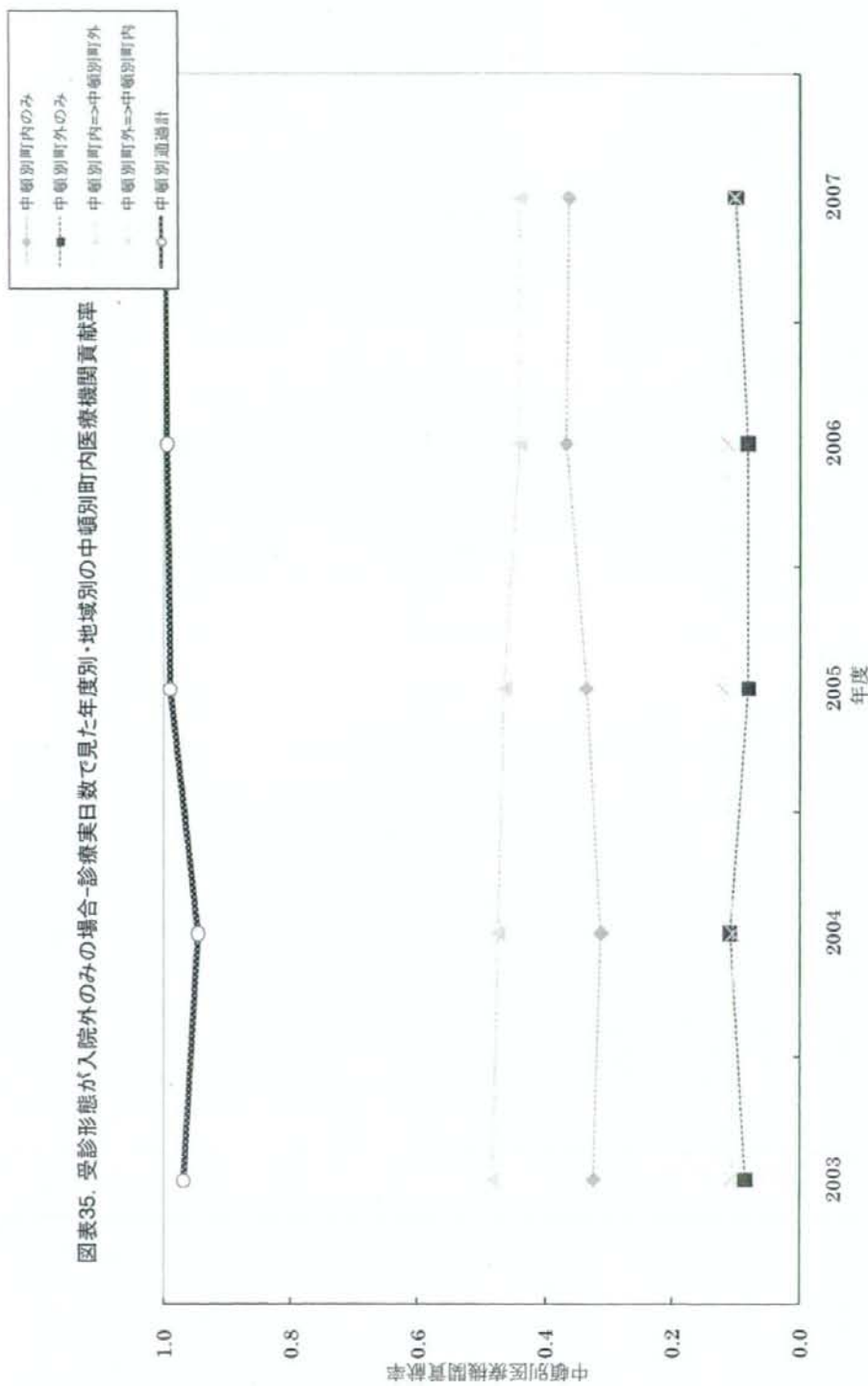
図表33. 受診形態が入院外=>入院の場合の年度別・地域別受診率



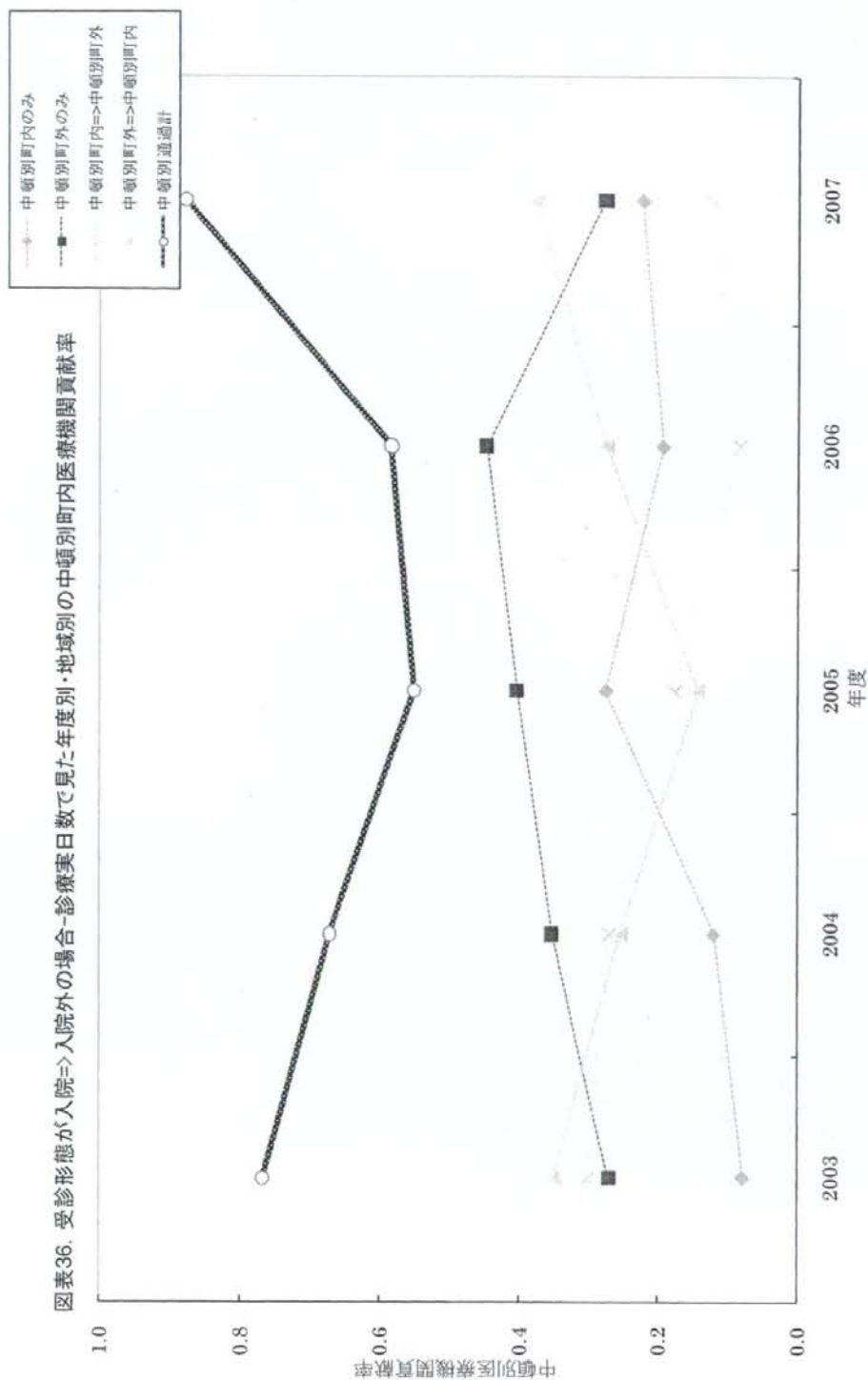
図表34. 受診形態が入院のみの場合-診療実日数で見た年度別・地域別の中頓別町内医療機関貢献貢献率



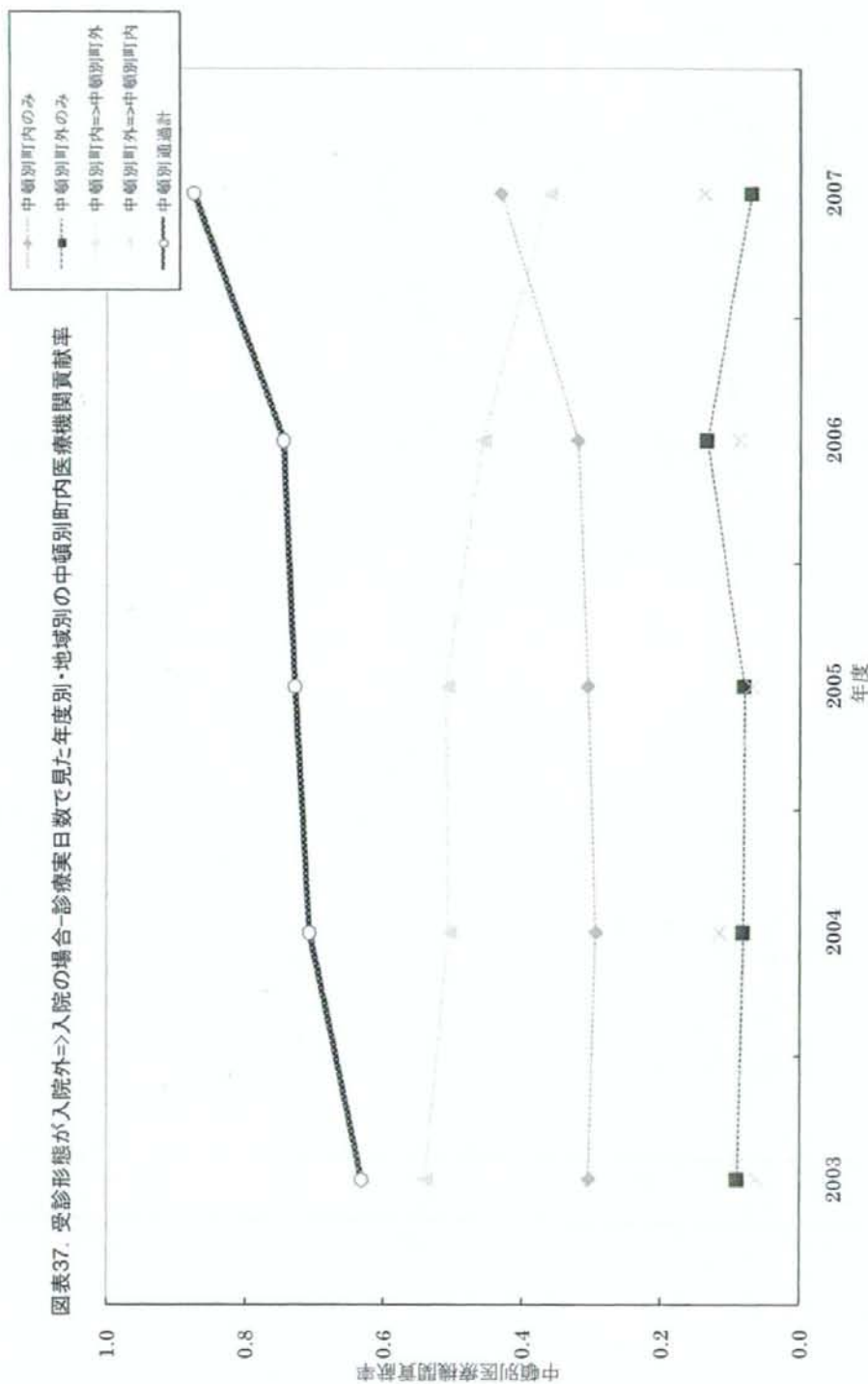
図表35. 受診形態が入院外のみの場合-診療実日数で見た年度別・地域別の中頓別町内医療機関貢献献率



図表36. 受診形態が入院⇒入院外の場合-診療実日数で見た年度別・地域別の中頓別町内医療機関貢献貢献率



図表37. 受診形態が入院⇒入院の場合-診療実日数で見た年度別・地域別の中頓別町内医療機関貢献率



図表38. 受診形態が入院のみの場合-診療報酬点数で見た年度別・地域別の中頓別町内医療機関貢献率

